

ひらやま 十六号

せつぶんの日に

一年三組 橋口 千歳

せつぶんの日に、まめまきをしました。おには、おとうさんでした。いもうとのみーちゃん、小さなおめんをつけたお父さんを見てわらっていました。



だけど、おにのおめんをつけたおとうさんがだっこしてにげまわりはじめると、いっばいないでいて、かわいそうだったので、おとうさんおにをひっしにおいかけて、まめをなげました。ぼくは、みーちゃんをたすけられて、よかったなあとおもいました。

【宮崎日日新聞『若い目』】

令和六年二月二十日

元気になった

一年三組 前田 那月

金よう日にねつが出ました。びょういんへいって、はなの中をつんつんしました。なきませんでした。かんごしさんが「きょうの7さい

の中で、一ばんつよいかもしれせん」といっていました。

おくすりをのんだら、つぎの日にはもうげん気になりました。おくすりがきいたのだとおもいます。よかったです。



【宮崎日日新聞『若い目』】

令和六年二月二十八日

気持ちのよい公園にしよう

二年二組 大前 咲菜

今日、お父さんと妹とわたしで、りす公園に「ゴミひろい」にいきました。

「ゴミは、おかしなふくろやペットボトル、たばこのすいがら、長四角形の木にくぎがついたものなどがありました。わたし

が、「ゴミがあつたよ。何かでつかいの。」と言いました。お父さんは、そのゴミをひろって、「たぶんゲームのびひんだよ。何で



あると思う。」

と聞きました。わたしは、「ゲームをしてたから。」と答えました。何でそんなぶ品があるのかふしぎでした。

みんなは、公園でゴミを見かけたらひろってください。わたしは、みんなの公園がきれいになると気持ちいいです。

【夕刊デイリー『光の子』】

令和六年二月二十八日

もくろく5年生

四年三組 小形 一太

参観日に、ぼくたち4年生は「10才のわたし」というテーマで書いた作文を発表しました。

ぼくの発表の順番が来るまでとてもきんちようしました。読み間違えないかと心配でした。ついにぼくの番がやってきました。はきはきとゆっくり読みながら発表を終えました。



最後に先生が作った1年間のスライドショーを見て参観日が終わりました。スライドショーにはみんなですべての集合写真もはっていました。

4年生はもうすぐおわります。5年生になるまでの時間を大切にしていきたいと思いました。

【宮崎日日新聞『若い目』】

令和六年三月十三日

【日向市人権作品（標語の部）】
入選

ともだちにやさしいこえをかけたとき
ぼくのこころも
ぽかぽかになる

一年三組 銀山 蒼介

だいじようぶ？
ころんだいたみ
きえちゃった

一年三組 谷川 司紗

こころには
やさしいことばの
ばんそうこう

一年三組 前田 那月

人はみな
パズルのピース
欠かせない

六年一組 橋本 紬

宮日こども新聞『みんなの作品』

一年三組
向山 明輝



日向市・財光寺小1年
向山 明輝君(7)